



12月7日  
びっくり箱が国務大臣表彰を受賞

読み聞かせの会「びっくり箱」に、内閣府より「チャイルド・ユースサポート章」が贈られました。  
この賞は、子育てと子育てを担う家族を支援する活動において、地域や社会に貢献された団体に贈られるもので、びっくり箱は、永年にわたる絵本の読み聞かせ等の活動が認められて今回の受賞となりました。



11月18日  
手をつなぐ育成会が太鼓演奏を体験

知的障がい者の福祉増進を目的とした団体「手をつなぐ育成会」が、社会参加総合推進事業で和太鼓の演奏を体験しました。この事業は、知的障がい者の余暇活動を促進することを目的に毎年開催されているものです。  
集まった約20人の参加者は、判官太鼓保存会メンバー指導の下、最後には曲を披露するまでに上達しました。

12月8日  
市民劇団ど・こ〜れ新冠定期公演

今年で15回目となる市民劇団ど・こ〜れ新冠の定期公演がレ・コード館で行われました。  
作品は、夢の中に出てきたお姫様を助けに大冒険が始まり、そのお姫様を捕まえようとする怪物、オバーク大魔王を退治するという内容。笑いあり感動ありの公演に、観客からは惜しめない拍手が送られていました。



11月22日  
稲作振興会が新米60キロを贈る

新冠町稲作振興会（小田島栄会長）が、高齢者福祉施設おうるの郷と特別養護老人ホーム恵寿荘に、それぞれ新米60kgを贈りました。  
贈った新米は、町内でのみ販売しているブランド米「判官伝説（ゆめぴりか）」で、今年は天候に恵まれ、大変美味しいお米に仕上がっているそうです。



12月12日  
農業青年発表会

管内の農業青年が集まり「日高管内農業研究大会」がレ・コード館で開催されました。  
この研究大会は、日頃の活動を発表するもので、新冠町からは、4Hクラブの赤田孟紀さんが「初産牛の販売価格の向上を目指して」と題し、自分が実践していることや経験したことについて発表を行い最優秀賞を受賞しました。



11月23日  
宮城県山元町の復興支援事業に参加

東日本大震災で被災した宮城県山元町で行われた「第2回山元町ふれあい産業祭」に、新冠町商工会女性部員6名と町職員3名が参加し、町の特産品であるピーマンを使用した「うどん」や「ピザ」、「洋かん」などを販売しました。  
なお、現在山元町には、震災復興支援のため町職員を派遣しています。（写真左 派遣職員の八木さんと山田さん）

## 国保診療所に新しい医師が就任 内科医 梅津知史医師



新冠町国保診療所に、1月1日より内科医である梅津知史（うめつともふみ）医師が就任します。梅津医師は、札幌医科大学を卒業後、大学病院などを経て平成2年に十勝管内の病院に勤務。以来23年間近く十勝管内で生活しており、平成24年12月末まで大樹町立病院に勤務していました。出身の医局では、腫瘍、血液、消化器疾患を主に診ていましたが、現在は、検診や広く総合内科的な診療をしたいと思っているそうです。

家族は、奥さんと3人のお子さんの5人家族。お子さんは2人が社会人で、1人が大学生ということで、新冠町では奥さんと2人暮らしになるようです。

新冠町立国保診療所は梅津医師の就任により、平成25年3月末までの間、常勤内科医師3名体制で内科診療に対応してまいります。



**RJB定期演奏会**  
11月24日、レ・コード館でレ・コード館ジュニアジャズバンドの第6回定期演奏会が開催されました。  
キッズメンバーからレギュラーメンバーまで総勢20名が出演し、素晴らしい演奏を披露してくれました。



**合唱団Vol.1定期コンサート**  
11月17日、レ・コード館で合唱団Vol.1の定期コンサートが開催されました。  
コンサートは5部構成で行われ、アニメソングなどで自慢の歌声を披露したほか、ピアノ独奏など終始観客を楽しませる内容となっていました。



**ボジョレーヌーボー解禁**  
11月16日、レ・コード館の展望塔で「レコードとワインの夕べ」が開催されました。  
この企画は、新冠町青年団体協議会が主催して行っているもので、参加者の皆さんは、ワインを飲みながら楽しいひとときを過ごしていました。